

[454]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 454

<https://doi.org/10.15017/4791809>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 454, pp. 1-5, 1991-12-19. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1991. 12. 19

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室

目 次

1. 学術情報ネットワークによるサービスの一時停止について 1
2. スーパーコンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止について 2
3. UTSの運用停止およびUXPの運用開始について 2
4. FORTRAN 77 EXへの変更に関するマニュアル対応表について ... 3
5. データベースシステム創造賞受賞記念講演会について 5

1. 学術情報ネットワークによるサービスの一時停止について

学術情報ネットワークの整備拡張のため、これによる大学間ネットワーク及びMHS電子メールサービスを下記のとおり停止します。

記

期 間 平成3年12月24日(火) 9:00 ~ 20:00

(ネットワーク掛 内線2543)

2. スーパーコンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止について

このことについて、スーパーコンピュータの更新のために次のとおり計算サービスを一時停止します。

年 月 日	利用 者 サービス	セ ン タ ー 内 作 業
平成4年 2月20日(木)	スーパーコンピュータ サービス終了	
平成4年 2月21日(金) ～ 平成4年 3月 3日(火)	汎用コンピュータ のみサービス *ただし 2月25日は17時以降 および 2月27日は13時以降 全てのサービスを停止し ます	*出力待ちジョブの強制出力作業 及びシステムバックアップ作業 *スーパーコンピュータの入れ替 え作業 *システムの変更作業
平成4年 3月 4日(水)	スーパーコンピュータ サービス開始	

(システム運用掛 内線2517)

3. UTSの運用停止およびUXPの運用開始について

平成3年12月24日(火)からUNIX系のOSであるUXP(System V Release 4準拠)の運用を開始します。これにともない、UTSは平成3年12月20日(金)の12時で運用を停止します。

(1) 移行スケジュールについて

UTSは平成3年12月20日(金)の12時をもって運用を停止します。OSの移行作業の後、平成3年12月24日(火)からはUXPを運用します。ただし、汎用機の入替のため、平成3年の運用は24日の20時までです。平成4年は1月8日(水)から運用します。

また、UXPの利用負担金は平成4年1月11日(土)まで無料とします。この間にできるだけUXPを利用して、プログラムの動作確認や書き換えなどを行ってください。

(2) login名、パスワード、ホームディレクトリについて

login名およびパスワードはUTSのものがそのまま利用できます。しかし、ホームディレクトリは現在の /usr/usr?/利用者番号 から /home/usr?/利用者番号 に変わります。

(3) 利用者ファイルの移行について

利用者のファイルは、UTSの運用停止後、UXPのホームディレクトリ下にUTSFILESというディレクトリを作成し移行します。そこからの移行は利用者自身で行ってください。

その他、UXP移行に関するお知らせはlogin時のオンラインメッセージなどで行います。参照してください。

(システム管理掛 内線2518)

4. FORTRAN 77 EXへの変更に関するマニュアル対応表について

先日から公開しているFORTRAN 77 EX及び関連のソフトウェアでは、参照するマニュアルが下表のように改められましたので、お知らせします。

FORTRAN 77 関連	FORTRAN 77 EX 関連
FACOM OSIV FORTRAN77文法書 (64SP-3330-5)	FUJITSU FORTRAN77文法書 1991年6月版 (99SP-8032-1)
FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77使用手引書 V10用 (78SP-5300-4)	OSIV/MSP FORTRAN77 EX使用手引書 V12用 (79SP-5031-1)
FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77/VP使用手引書 V10用 (78SP-5680-3)	OSIV/MSP FORTRAN77 EX/VP使用手引書 V12用 (79SP-5041-1)
該当なし	FUJITSU FORTRAN VPプログラミング使用手引書 (99SP-0080-1)
FACOM OSIV FORTRAN77メッセージ説明書 V10用 (70SP-5310-3)	FACOM OSIV FORTRAN77 EXメッセージ説明書 V12用 (70SP-5321-1)
富士通 PKS文法書 V10用 (99SP-7200-1)	変更なし

FACOM PKS使用手引書 V10用 (99SP-7210-1)	FUJITSU GSKS使用手引書 V10用 (99SP-4140-1)
FACOM GKS85使用手引書 V10用 (99SP-4080-2)	
富士通 GKS85文法書 FORTRAN77編 1989年10月版 (99SP-8240-1)	変更なし
FACOM OSIV/F4 MSP TESTFORT77使用手引書 V10用 (78SP-5330-1)	OSIV *1 デバッガ使用手引書 FORTRAN, C言語用 (70SP-6430-1)
該当なし	OSIV/MSP *2 テストカバレッジ使用手引書 FORTRAN, C言語用 (79SP-4670-1)
FACOM OSIV FORTUNE使用手引書 V10用 (70SP-5730-2)	OSIV/MSP *3 アナライザ使用手引書 FORTRAN用 (79SP-5090-1)
	OSIV/MSP *4 アナライザ使用手引書 FORTRAN, VP用 (79SP-5080-1)
FACOM OSIV/F4 MSP 会話型ベクトライザ使用手引書 V10L30系用 (78SP-5692-2)	変更なし

☆ *1, *2, *3, *4 の総称は「LEBASE」です。LEBASEについてはニュース、広報等で解説する予定です。

(ライブラリ室 内線2508)

5. データベースシステム創造賞受賞記念講演会について

1991年11月に開催された全国共同利用大型計算機センター長会議の議により、九州大学大学院農学研究科 久原 哲 助教授、九州大学情報処理教育センター 高木 利久 助教授がデータベースシステム創造賞（データベースシステムGENASの創作）を受賞されることになりました。

GENASはヌクレオチド配列データと蛋白質アミノ酸データに関するデータベースシステムです。近年遺伝子データベースの重要性が増していますが、久原哲氏と高木利久氏はそれぞれ遺伝子工学研究者、情報工学研究者として、学際的共同作業を行い、九州大学大型計算機センターで迅速くデータベースシステムを完成させ、運用に供しました。特に演繹型データベース管理システムAdbisを基本としているため、データベースに陽に格納されていない関係が導けるといった特徴があります。そして両氏は本データベース関連の多数のプログラムを開発・整備され、データベースシステムGENASは性能的にも機能的にも高く評価されています。九州大学大型計算機センターでの運用実績においても近年は毎年5～6千件の利用があり、INSPECにつぐ利用頻度となっています。利用者也全国に分布し、特定分野のデータベースとしては顕著な利用実績といえます。

今回の久原哲氏、高木利久氏のデータベースシステム創造賞受賞を記念して、下記の通り受賞記念講演会を行います。奮ってご参加下さるよう案内します。

記

データベースシステム創造賞受賞記念講演会

日時 1992年1月17日（金） 13:30～15:00

場所 九州大学大型計算機センター多目的講習室（3階）

プログラム

挨拶

データベースシステム創造賞受賞式

講演

久原哲、高木利久：「演繹データベースシステムAdbisを応用した遺伝子-蛋白質解析システムGENASについて」

概要：近年、塩基配列決定法の発展により、DNA、蛋白質の一次構造の蓄積は膨大な量になってきている。我々は、演繹データベースシステムAdbisを用いて、このような遺伝子や蛋白質のデータを解析するための統合的データベースシステムGENASを構築した。このシステムは、1984年から九州大学大型計算機センターで運用されている。講演では、GENASの、開発の経緯、システムの概要、利用の状況、今後の課題などについて述べる。